

のめり込めば分かるさ

先生 1週間の学園祭、お疲れ様！ 縦割りクラスでの合唱や演劇、そして国際高校生フォーラム*に向けた校内プレゼンテーションと盛りだくさんで、先生も卒業生だから分かるけど、大変だったよね！

生徒 やることが本当に多くて……。でもその分、迷った時は優先順位をつけたり、立ち止まって根本から考えたりすることを学びました。

生徒 みんなそれぞれの意見を持っているから、対立することもありました。でも、粘り強く話し合うことで、よりよいものになっていきました。「やっぱり話し合っただけじゃよかった」と振り返る場面がたくさんありました。

生徒 私は、自分の考えを言うのが苦手なので、最初はみんなの意見を聞いているだけでした。でも、それでは貢献できないと気がついて、たくさん本を読み、知識を増やすことでみんなの役に立とうと努めました。

先生 よりよいものをつくるために、妥協せずに議論し、自分ができることを模索したんだね。部活動とはまた違う緊張感や葛藤を体験することができたね。

生徒 思うようにいなくて自分を責めることもありました。とことん落ち込む中で、「人から褒められるこ

とも大切だけど、自分で自分を認めることも大切だ」と気がついたんです。私たち3年生は、これから入試本番まで、努力しているのにうまくいかないようなことも多く経験するんだろうけど、そんな時こそ、自分を認める力が必要なんだろうと思います。

先生 みんなは学園祭を通して、他者と自分を動かす経験をしたんだよ。そこで培った力は、大学入試ではもちろん、社会に出て働く中でも役に立つと、同じ経験をした1人の先輩として自信を持って言いたいです。

生徒 学園祭が終わってからは、勉強面でも自分から学ぼうという気持ちがこれまで以上に強くなっています。社会で求められる主体性って、高校生活でも必要なんだと思います。

先生 高校での様々な活動は、すぐに成果が出るとは限らないし、何が得られるかは終わってみないと分からないものもたくさんあります。それでも、悩んだり、苦しんだりしながら、目の前のことに全力で取り組んでほしいと思うんです。すべての高校生には、君たちのように自分で乗り越える力があるし、そうした3年間が、人生の大切な礎になっていくのだと思います。

荻原知也先生 教職歴 22 年。同校に赴任して 12 年目。進路指導主事（キャリア形成部長）。

鳥取県立倉吉東高校 全日制・定時制／普通科／共学／1学年 約 200 人／2018 年度入試合格実績（現浪計）国公立大は、北海道大、東京大、名古屋大、大阪大などに 151 人が合格。私立大は、慶應義塾大、早稲田大などに延べ 202 人が合格。